

# 紀の川水系上流域 洪水浸水想定区域図 (想定最大規模)【図郭図】



1 基本事項等  
この洪水浸水想定区域図は、紀の川水系の河川について、水防法の規定により指定された想定し得る最大規模の降雨による洪水浸水想定区域及び浸水した場合に想定される水深を表示した図面です。

- (1) 作成主体 和歌山県  
(2) 公表年月日 令和6年3月29日  
(3) 対象となる河川 紀の川水系下津川、窪谷川、西の谷川、風呂谷川、堂田川、四色川、藤谷川、西谷川、中谷川(75)、檜谷川、大蔵川、桜谷川、小黒谷川、落合谷川、山崎谷川、弁天谷川、中谷川(83)、嵯峨谷川、田原川、東谷川(86)、西川、丹生川、不動谷川、三尾川、北又川、雨天橋川、吉原川、大谷川、山田川、洲之川、市脇川、橋本川、東谷川(98)、細川川、湯屋谷川、高瀬谷川、芋谷川、倉谷川、白猪谷川、釜谷川、高橋川、隅田川、榑谷川、去年川、落合川、東の川  
(4) 前提となる降雨 下津川流域、芋谷川流域の1時間雨量145mm  
窪谷川流域、西の谷川流域、風呂谷川流域、四色川流域、藤谷川流域、西谷川流域、中谷川(75)流域、檜谷川流域、大蔵川流域、桜谷川流域、小黒谷川流域、落合谷川流域、弁天谷川流域、田原川流域、雨天橋川流域、吉原川流域、大谷川流域、洲之川流域、市脇川流域、倉谷川流域、隅田川流域、堂田川流域、山崎谷川流域、中谷川(83)流域、嵯峨谷川流域、山田川流域、白猪谷川流域、高橋川流域、去年川流域、落合川流域、東の川流域の24時間総雨量1,150mm  
西川流域、高瀬谷川流域の1時間雨量146mm  
東谷川(86)流域、三尾川流域、細川川流域、湯屋谷川流域、釜谷川流域、榑谷川流域の1時間雨量147mm  
丹生川流域の24時間総雨量834mm  
不動谷川流域の1時間雨量122mm  
北又川流域の1時間雨量142mm  
東谷川(98)流域の1時間雨量143mm  
橋本川流域(水位周知区間)の12時間総雨量817mm  
橋本川流域(水位周知区間外)の1時間雨量132mm  
紀の川橋本地点上流域の2日間の総雨量678mm  
紀の川船戸地点上流域の2日間の総雨量565mm  
(5) 関係市町村 かつらぎ町、橋本市、九度山町、高野町

- 2 計算条件等  
(1) この洪水浸水想定区域図は、上記「1 基本事項等(3)対象となる河川」(以下、「対象河川」という。)を対象に、指定時点の河道形状等を勘案し、想定し得る最大規模の降雨に伴う洪水により対象河川が氾濫した場合に想定される浸水の状況をシミュレーションにより求めたものです。  
(2) 対象河川が複数ある場合は、それぞれの河川ごとのシミュレーションから得られた浸水深のうち最大の値を用いて洪水浸水想定区域図を作成しています。  
(3) このシミュレーションの実施にあたっては、対象河川以外の河川の氾濫、対象河川が複数ある場合の同時氾濫、堤防溢杯流量が小さく想定最大規模の洪水時に堤防天端水位を一連の区間に渡って大きく超える河川区間における河川堤防の決壊による氾濫範囲の拡大、シミュレーションの前提となる降雨を超える規模の降雨による氾濫及び高潮や内水による氾濫等を考慮していませんので、この洪水浸水想定区域図に指定されていない区域においても浸水が発生する場合や想定される水深が実際の浸水深と異なる場合があります。また、家屋倒壊等をもたらすような氾濫の発生を考慮していませんので、家屋倒壊等氾濫想定区域については表示していません。

**凡例**

浸水した場合に想定される水深  
(ランク別)

- 20.0m以上の区域
- 10.0～20.0m未満の区域
- 5.0～10.0m未満の区域
- 3.0～5.0m未満の区域
- 0.5～3.0m未満の区域
- 0.5m未満の区域
- 市町村境界
- 河川等範囲
- 洪水浸水想定区域指定の対象となる県管理河川

